

< 報道関係各位 >

よみがえる古代史ロマン

角川文化振興財団と朝日新聞社がシンポジウムを共催

近年、考古学の定説に再検討を迫る重要な発見・発掘が相次ぎ、古代史研究の進展はめざましいものがあります。改めて「日本古代国家の起源」を考える時期が到来したのではないのでしょうか。そこで、角川文化振興財団と朝日新聞社は、最新の発見に基づいて様々なテーマを徹底討論する、古代史シンポジウム「発見・検証 日本の古代」を共催します。全 3 回の構成で、4 月 19 日の福岡会場を皮切りに大阪、東京と日本を縦断しながらの開催となります。

第 1 回の申し込み受付は 3 月 17 日 (火) から公式サイト <http://t.asahi.com/kodaishi> または、
古代史シンポジウム事務局 03-3547-5560 まで。電話受付は平日午前 10 時～12 時、午後 1 時～5 時 30 分。

名称: 古代史シンポジウム「発見・検証 日本の古代」

主催: 角川文化振興財団

共催: 朝日新聞社

後援: 朝日カルチャーセンター

構成: [総合司会] 上野誠 (以下敬称略)

[企画構成委員] 白石太一郎、鈴木靖民、寺澤薫、森公章

プログラム: ①基調講演 ②個別テーマの基調報告+討論 ③全体討論

受講料: 1,000 円 (税込み)

【第 1 回: 福岡会場】

会期: 2015 年 4 月 19 日 (日) 10:00～17:00 会場: 都久志会館

テーマ: 邪馬台国とヤマト王権をどう考えるか

出演者: 鈴木靖民、寺澤薫、仁藤敦史、武末純一、森下章司、磯前順一、上野誠ほか

【第 2 回: 大阪会場】

会期: 2015 年 6 月 28 日 (日) 10:00～17:00 (予定) 会場: 御堂会館

テーマ: 騎馬文化と前方後円墳の拡がり

出演者: 森公章、白石太一郎、李尚律、朴天秀、桃崎祐輔、田中史生、東潮、上野誠ほか

【第 3 回: 東京会場】

会期: 2015 年 9 月 27 日 (日) 10:00～17:00 (予定) 会場: 有楽町朝日ホール

テーマ: ここまでわかった日本の古代

出演者: 白石太一郎、鈴木靖民、寺澤薫、森公章、上野誠ほか

第1回のテーマは「邪馬台国とヤマト王権をどう考えるか」です。中国古代文献に登場するいわゆる邪馬台国が、後のヤマト王権とどうつながるのか、またつながらないのか？その中心地はどこにあったかなど、邪馬台国をとりまく議論に対して、考古学・古代史・宗教学の知見を総合して徹底討論します。

【第1回:福岡会場】

会期:2015 年 4 月 19 日(日)10:00～17:00

会場:都久志会館(福岡市中央区天神 4-8-10)

定員:500 名(先着順)

テーマ:邪馬台国とヤマト王権をどう考えるか

プログラム:

〔基調講演〕10:00～11:05

「王権はいかにして誕生したか」寺澤薫(桜井市纏向学研究センター所長)

「倭国のありさまと王権のなりたち ～3 世紀を中心に～」鈴木靖民(横浜市歴史博物館館長)

〔個別テーマの基調報告+討論〕11:10～12:10 / 13:00～16:00

「卑弥呼の『共立』と魏王朝・公孫氏政権」仁藤敦史(国立歴史民俗博物館教授)

「邪馬台国時代前後の交易と文字使用」武末純一(福岡大学教授)

「銅鏡から見た邪馬台国時代の倭と中国」森下章司(大手前大学教授)

「鬼道から一天皇制以前」磯前順一(国際日本文化研究センター准教授)

〔全体討論〕16:10～17:00

司会:上野誠(奈良大学教授)

※第2回、第3回の詳細については、決まり次第お知らせします。

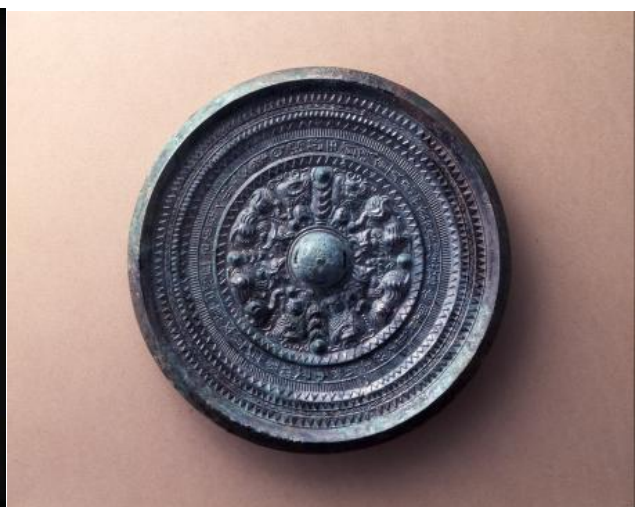


写真: (左)「箸墓古墳 航空写真」(桜井市教育委員会提供)／(右)「黒塚古墳 19 号鏡 三角縁銘帯四神四獣鏡」(奈良県立橿原考古学研究所提供、阿南辰秀氏撮影)

上記含め、画像の提供に関しては、事務局にお問い合わせください。